愛と勇気の車いす物語

保管用
よくお読みください
保証書別途

四輪歩行車　ダックウォーカー　ＡＹＤ

取扱説明書

安全に関するご注意		1
1.	製品の特徴	3
2.	同梱部品の確認	3
3.	安全ラベル	4
4.	各部名称	5
5.	操作方法及び使用方法	6
6.	押手の高さ調整方法	7
7.	杖置きの使用方法	7
8.	ブレーキの使用方法	8
9.	抵抗器の調整方法	9
10.	バッグの着脱方法	9
11.	主な使用方法	10
12.	保守・点検	12
13.	お手入れ方法	13
14.	仕様	14
15.	製造番号	15
16.	保証	16

このたびはカワムラサイクルの歩行車をお買い上げいただき、誠にありがとうございます。
この取扱説明書は、商品を安全にご使用いただくために必要な注意事項や正しい使用方法が記載されています。

※ご使用になる前に必ずお読みください。また、ご利用いただく際には必ず携帯してください。

あい＆ゆうき

安全に関するご注意　※ご使用になる前に必ずお読みください。

[表示マークの説明]

⚠警 告　この表示は「人が死亡または重傷などを負う可能性が想定される」内容です。

⚠注 意　この表示は「人が障害を負う可能性または物的損害のみが発生する可能性が想定される」内容です。

⃠禁 止　この表示は、してはいけない「禁止」の内容です。

以下の注意点以外であっても、無理な使用はおやめください。事故の原因になります。

⃠禁 止

●この製品は、歩行車です。それ以外の用途には使用しないでください。
●屋外に放置すると、サビなどにより製品が劣化します。屋内で保管してください。
●道路通行の際は、必ず右側通行してください。また、歩道を通行してください。
●勝手に改造・分解しないでください。強度や耐久性が劣化して危険です。また、事故になる恐れがありますので絶対に改造・分解しないでください。（保証対象外）

⚠警 告

●この製品を火気に近付けないでください。
※シート部が燃えたり、プラスチック等が変形したり、熱くなった金属部分でやけどするなど、危険です。

●歩行車に腰掛けた状態で前方の地面に置いてある物を拾う等、強い前傾姿勢をとらないでください。歩行車が転倒し危険です。

●踏み切りを横断の際は、車輪をレールに対して直角にして走行してください。斜めの角度で進入するとレールの溝に車輪がはまって危険です。必ず介助車と一緒にわたってください。

●バッグには軽いものをいれてください。過度の荷物はバランスを崩し危険です。また、押手に荷物を吊り下げますとバランスを崩し危険です。絶対に避けてください。

●座シート部以外に腰掛けないでください。

●歩行車に乗り降りの際は、必ず駐車ブレーキをかけて歩行車が固定されていることを確認してください。
※傾斜地では駐車しないでください。傾斜地では駐車ブレーキをかけても歩行車が動く場合があり、大変危険です。

⚠警告

●ブレーキは必ず手で操作してください。

●ブレーキレバーの作動方向以外に力を加えないでください。
また、必要以上に力を加えないでください。ブレーキが変形・破損する恐れがあります。

●介助者は、絶対に歩行車に乗って介助しないでください。

●歩行車を投げたり落としたり、衝撃を加えないでください。

●歩行車を物品運搬など歩行車以外の目的に使用しないでください。

●傾斜地での走行は、歩行車が予想外の方向に進むなど、大変危険です。

●段差の前では一旦停止して前輪を持ち上げて乗り超えてください。決して勢いをつけて乗り超えないでください。大変危険です。また、フレーム及びキャスタ車輪等の損傷を受けます。

●発進するときや段差を乗越えるときには、キャスタのタイヤが真っ直ぐになっていることを確認してから走行してください。斜めに進入したり、キャスタタイヤが斜めになった状態で発進すると段差を乗越えられなくなったり、キャスタの破損やキャスタからタイヤが外れる原因になったり、事故の原因となる恐れがあり大変危険です。

●走行する際には片手で操作しないでください。傘をさしながら、また片手に荷物を持ちながらの片手操作ではバランスを崩す原因にもなります。両手で操作し、バランスを保ちながらゆっくりと走行してください。

●夜間、雨降りは通行者や車から発見しにくくなります。充分にご注意ください。

●認知症（痴呆症）の方がご使用される場合は、必ず介助者が付き添ってください。また、歩行車のシート、部品等を飲み込むことや一度かけた駐車ブレーキを不意に解除されることがありますので、充分ご注意ください。

●下記のようなところに歩行車を放置しないでください。
・車道に近いところ　・人通りのあるところ　・路面に段差や凸凹のあるところ
・湿気の多いところ　・雨風の当たるところ
事故やサビ・破損の原因になります。

⚠注 意

●歩行車に表示されている「使用者最大体重」は、積載物も含んだ重さです。最大体重を守ってご使用ください。

●皮膚の弱い方のご利用の際には、充分ご注意ください。

なお、この取扱説明書は、仕様変更などによりイラストや内容が一部実車と異なる場合があります。

1．製品の特徴

この商品は、自立歩行が可能な方の歩行機能を補う歩行器型車いすです。
●押手高さを調整できます。
●取付け・取外し自由の大容量バッグがついています。
●疲れたときには、腰をかけて休むことができます。

2．同梱部品の確認

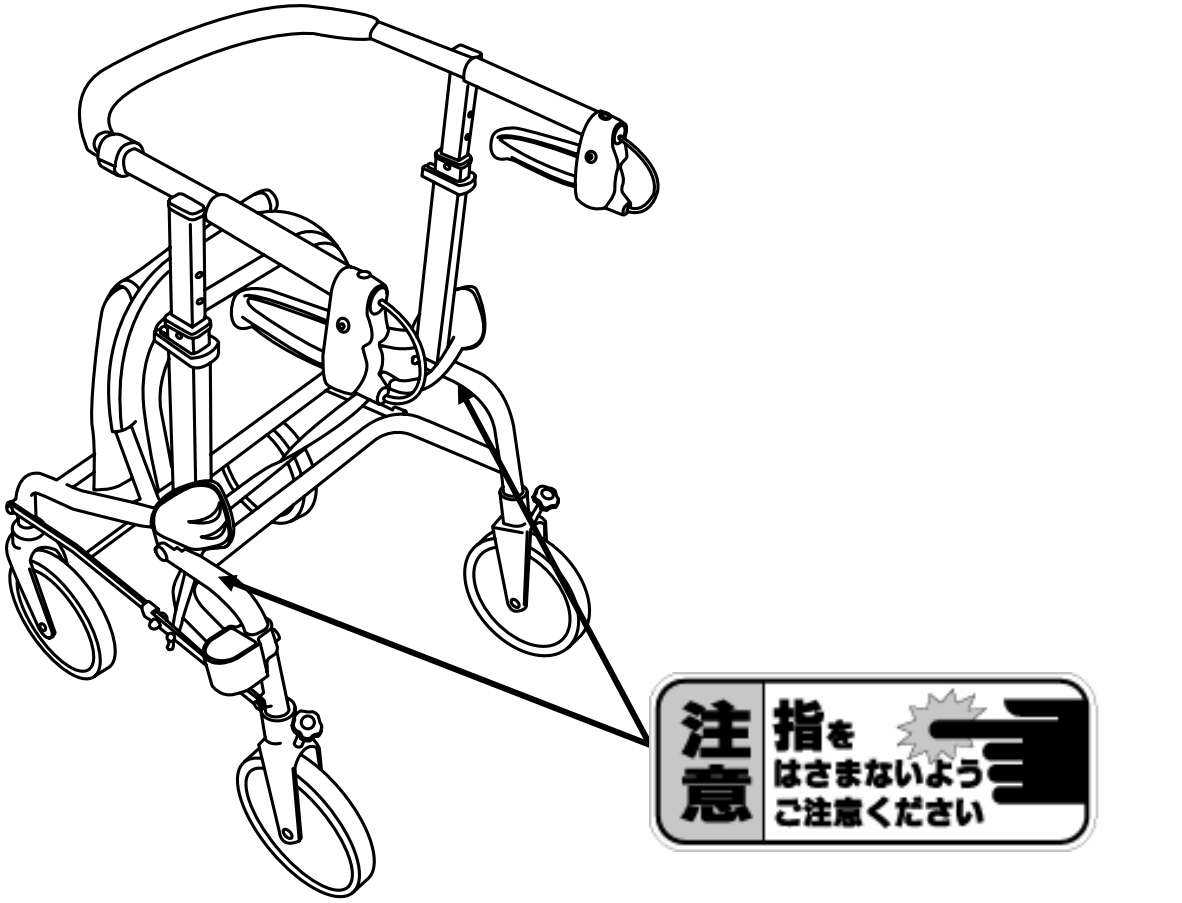
本製品には、以下の部品が同梱されていますので確認してください。

・取扱説明書　1冊
・保証書はがき　1 枚

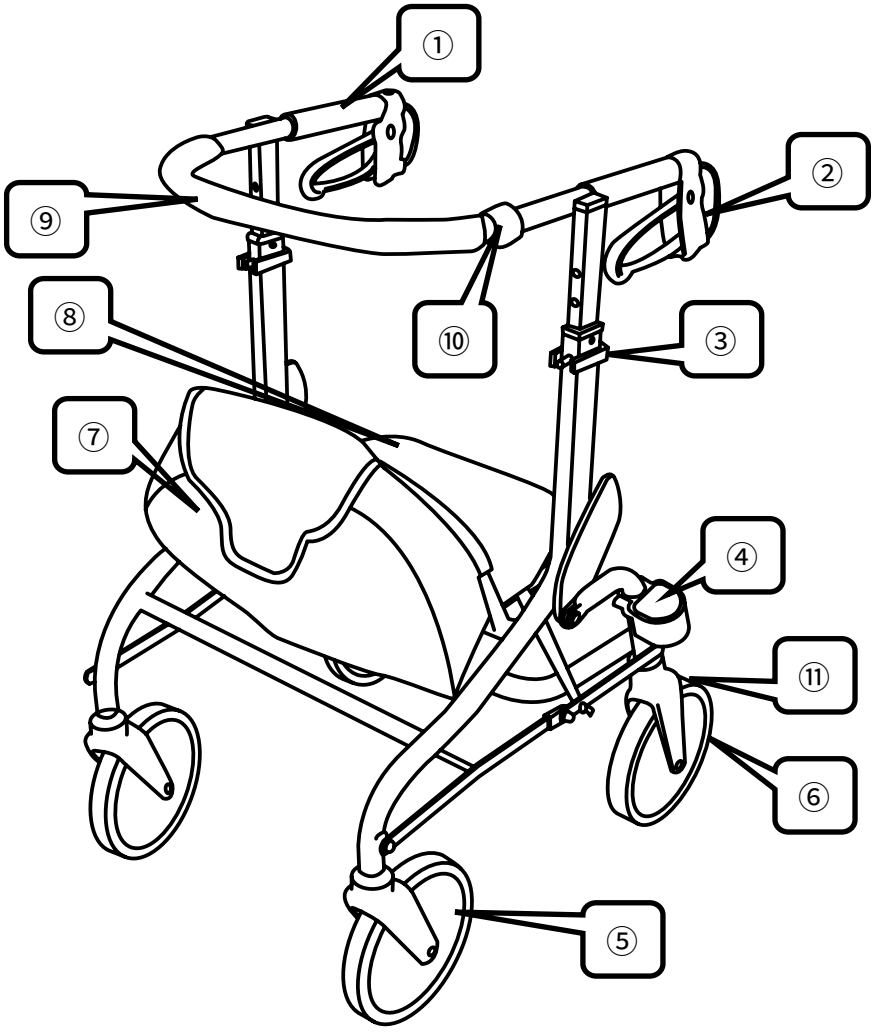
・バッグ　1 個

3. 安全ラベル

- 取扱上の重要な事項を記載した安全ラベルが貼ってあります。安全ラベルをすべて読んでからご使用ください。
- ラベルを汚したり、はがしたりしないでください。



4. 各部名称

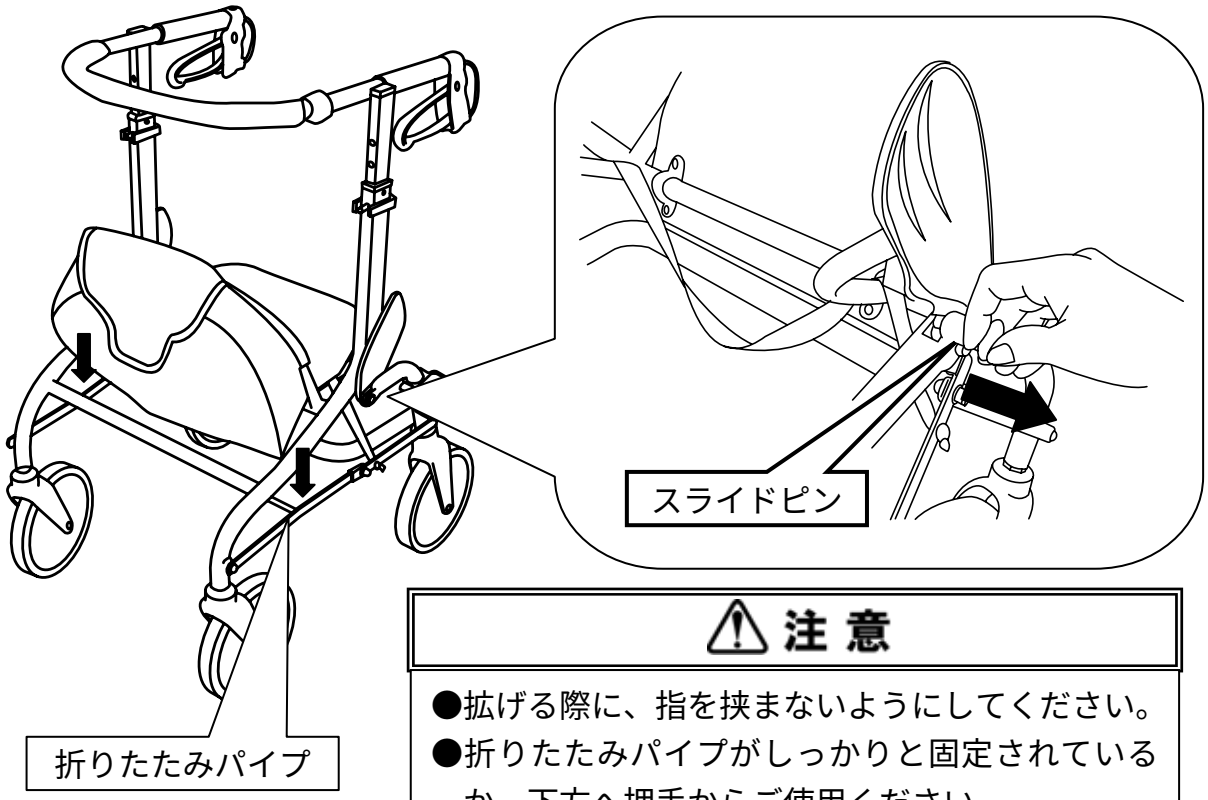


①押手（手押しハンドルグリップ）	歩行する際に握る部分です。
②制動ブレーキ	歩行中に速度を調節するためのブレーキです。
③押手高さ調整ピン	押手の高さを調整する際に使用します。
④杖置きカゴ	杖の先を収納するカゴです。
⑤前輪（キャスタ）	自在に方向転換できる車輪です。
⑥後輪	主輪です。回転する際に軸となります。
⑦バッグ	小物を入れる場所です。
⑧座面	座面のことです。（中央に座ってください。）
⑨背もたれ	腰掛けた際に背部をもたれかけるところです。
⑩杖置きベルト	杖を固定するベルトです。
⑪抵抗器調整ネジ	後車輪の回転抵抗を調整するネジです。

5. 操作方法および使用方法

＜拡げ方＞

押手を軽く持ち上げ、右側の黒いスライドピンを引っ張りながら座面を押し拡げてください。

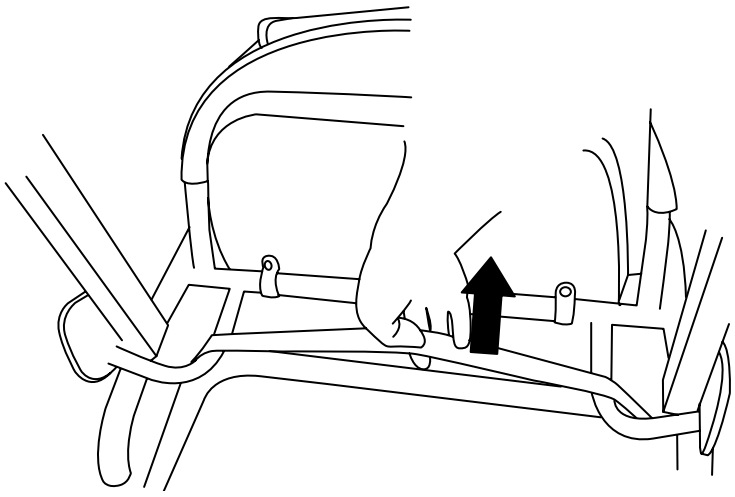


⚠注 意

●拡げる際に、指を挟まないようにしてください。
●折りたたみパイプがしっかりと固定されているか、下方へ押手からご使用ください。

＜たたみ方＞

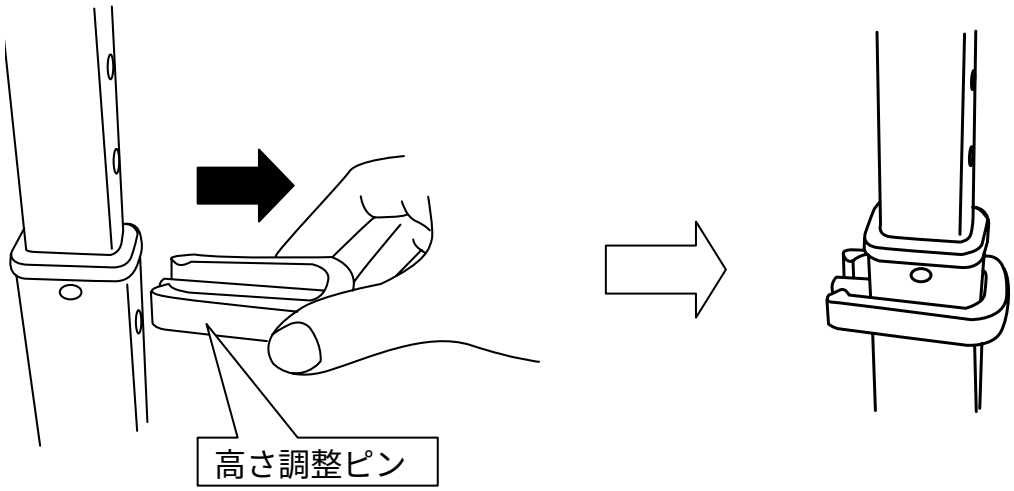
座面を上げ、座面下のヒモを上に引き上げると、黒いスライドピンがロックします。



⚠注 意

このとき、スライドピンがロックされていることを確認した上で、ご利用ください。
ロックされていないと、思わぬ事故の原因となります。

6. 押手の高さ調整方法

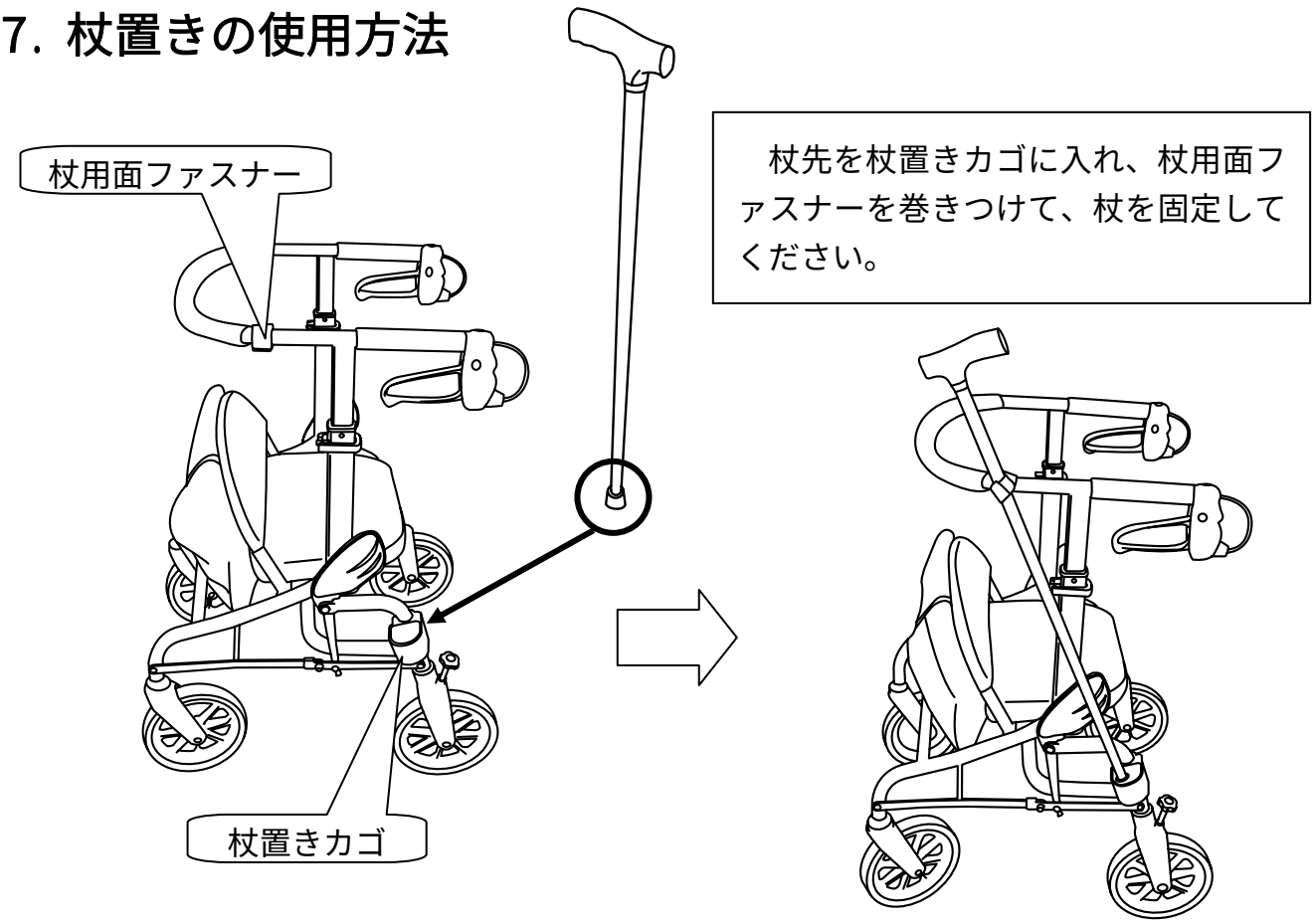


高さ調整ピンを引き抜き、ご使用者に合う位置に穴位置を調整し、高さ調整ピンを差し込んでください。

⚠注 意

ご使用の前には、必ず高さ調整ピンが奥まで刺さっていることを確認してください。途中で止まっていると、思わぬ事故の原因となります。

7. 杖置きの使用方法

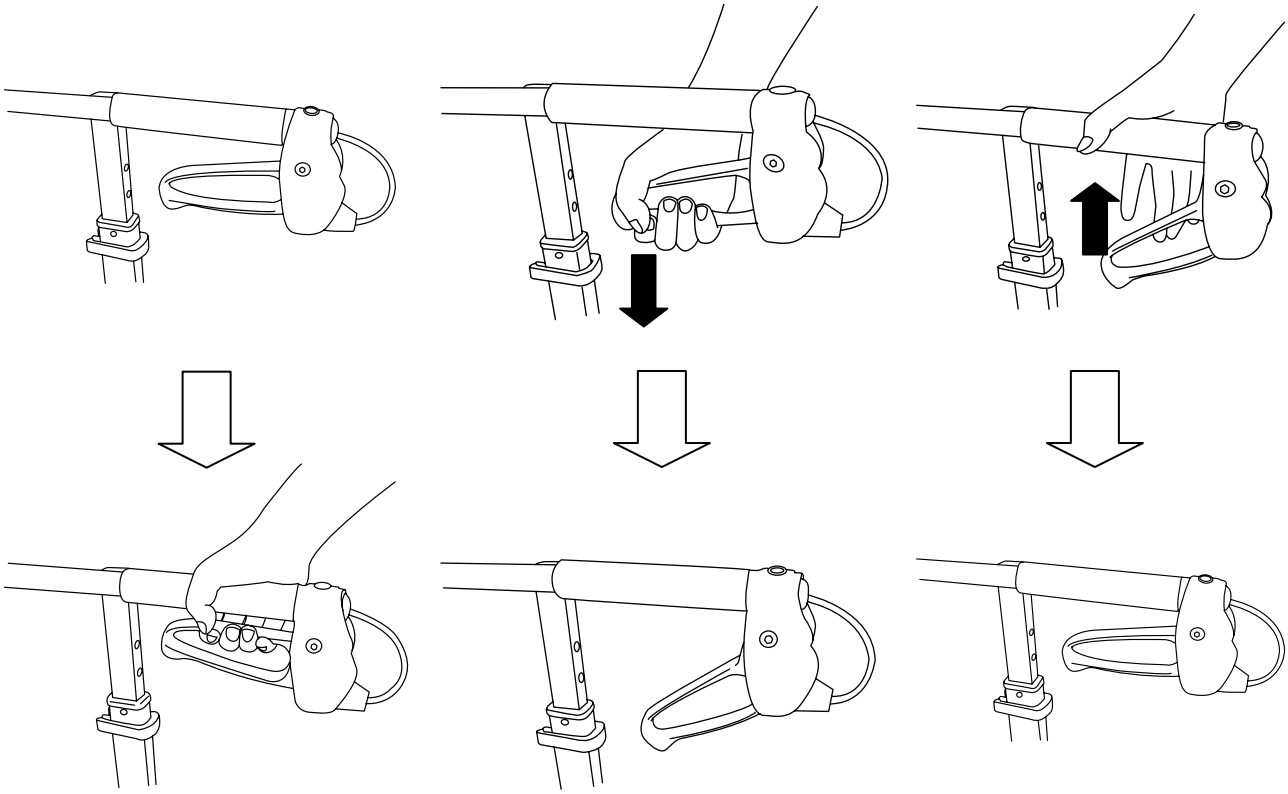


杖先を杖置きカゴに入れ、杖用面ファスナーを巻きつけて、杖を固定してください。

8. ブレーキの使用方法

ブレーキのかけ方

[ブレーキ]　　[ブレーキロック]　　[ブレーキ解除]



・ブレーキレバーに指をかけ強く握るとブレーキが働きます。
・指を離すとレバーは元に戻ります。
・また、ブレーキレバーを下に押し下げるとブレーキがロックされ後輪が固定されます。ブレーキをかけたとき左右の後輪がしっかりと止まっていれば正常です。

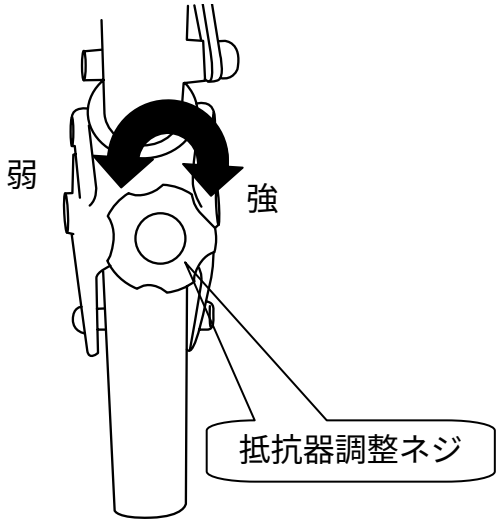
⚠ 警 告

※一ヶ月に一度は安全点検を行ってください。

●ブレーキの効き具合が強すぎたり弱すぎたりする場合は、ご使用を中止し販売店にご相談ください。
●ブレーキは必ず手で操作してください。足などで操作するとブレーキが破損します。
●ブレーキレバーの作動方向以外に力を加えないでください。また、必要以上に力を加えないでください。ブレーキが変形･破損する恐れがあります。(駐車ブレーキを握って立ち上がるような動作はしないでください。)
●坂道や傾斜地では駐車しないでください。駐車ブレーキをかけても歩行車が動く場合があり、大変危険です。(滑りやすい床面などでは駐車ブレーキをかけても歩行車が動く場合があります。)
●ブレーキワイヤーは、安全のために 1 年に 1 度定期的に交換してください。

9. 抵抗器の調整方法

後車輪に回転抵抗をつけることができます。



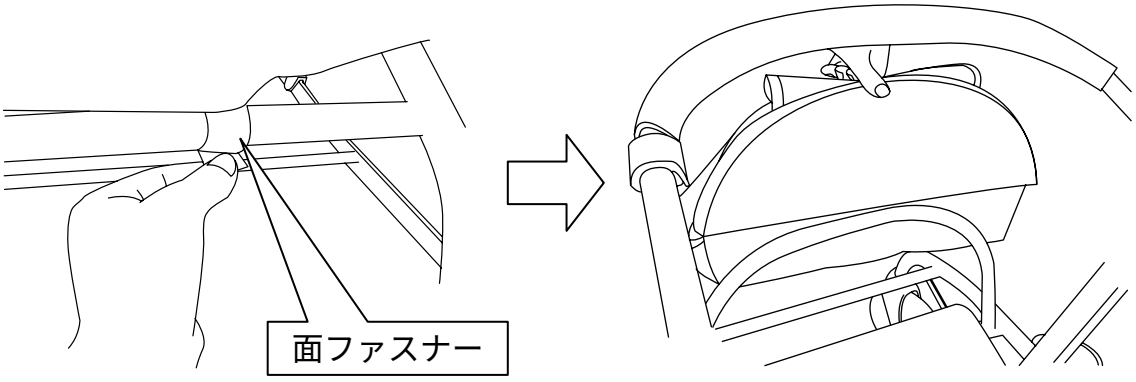
左右 2 箇所の調整ネジを調整します。

抵抗器調整ネジを右に回すと、抵抗が強くなります。
抵抗器調整ネジを左に回すと、抵抗が弱くなります。

⚠注 意

●左に廻しすぎると抵抗器調整ネジが外れますので、ご注意ください。

10. バッグの着脱方法

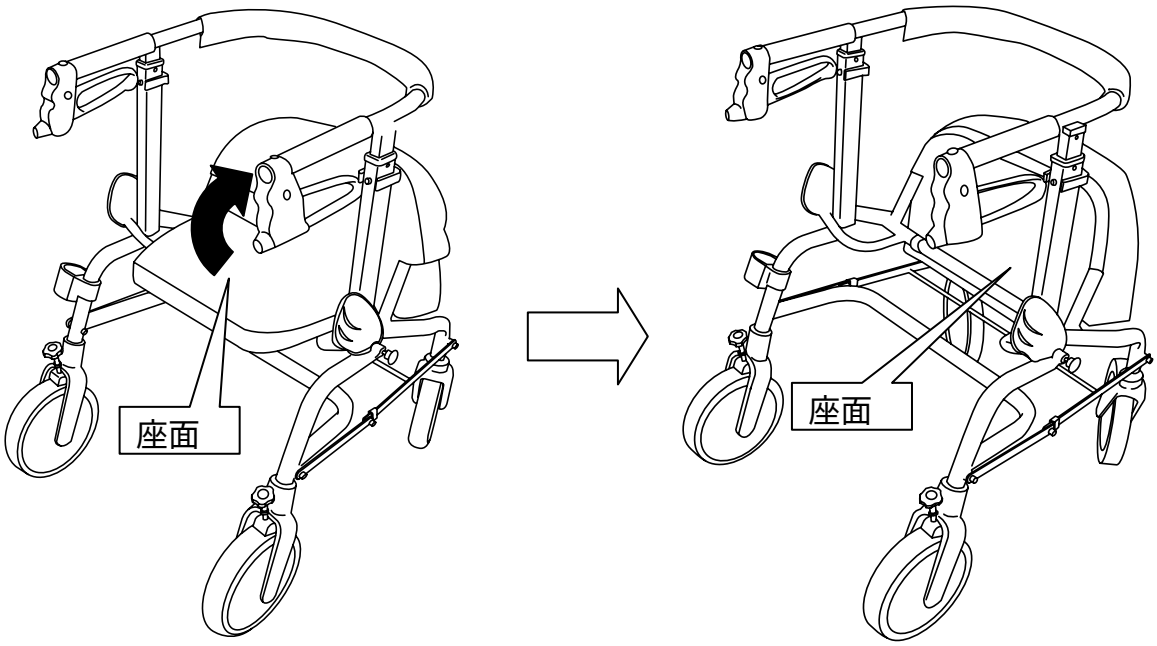


＜外し方＞
座面下の面ファスナーを取外し、バッグを引き抜いてください。

＜取付方＞
バッグを歩行車の背もたれに差し込み、バッグ下の面ファスナーで固定してください。

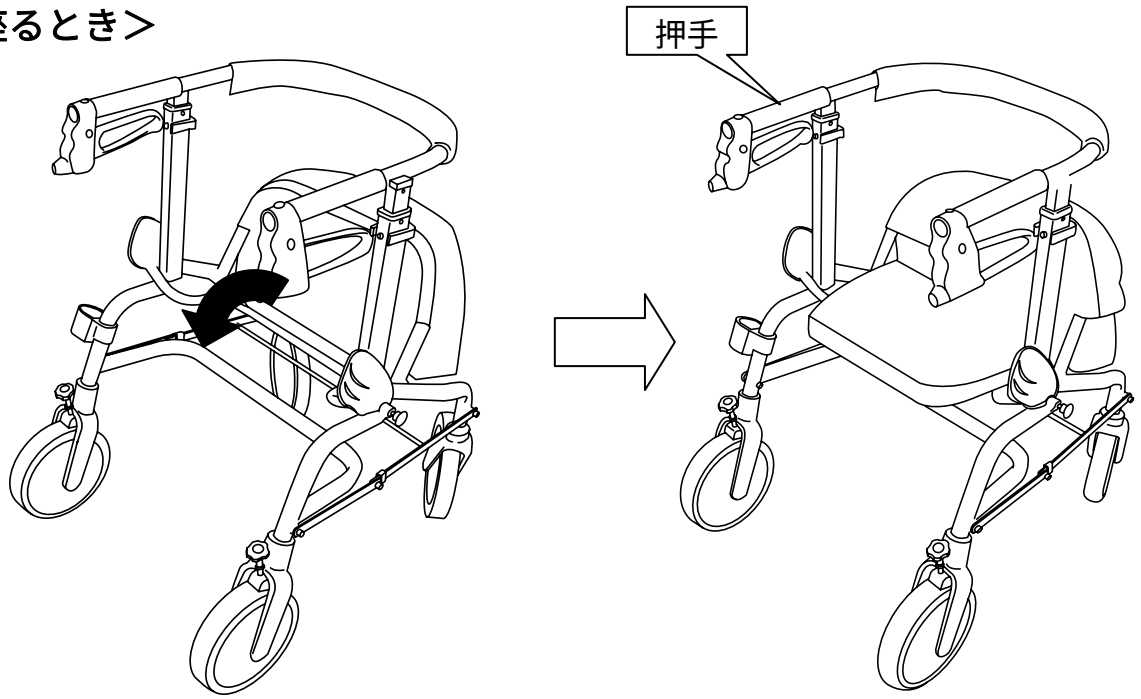
11. 主な使用方法

＜歩行するとき＞



歩行車としてご利用いただく場合には、必ず座面をたたんだ状態でご利用ください。

＜座るとき＞



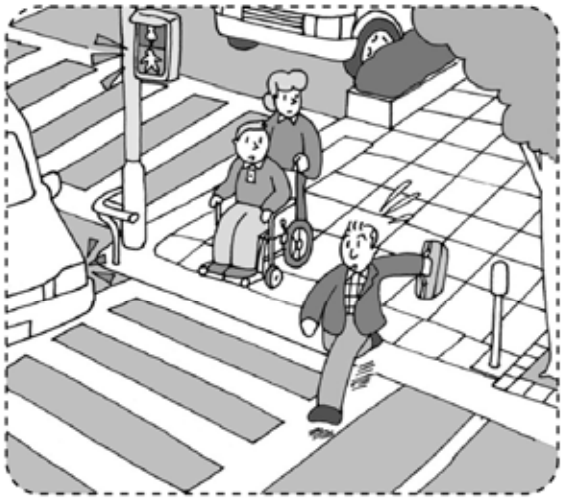
座る場合は、座面を倒してください。この際、必ずブレーキをロックしたことを確認して、押手を持ちながらお座りください。

＜各部の点検･保守方法＞

⚠ 警 告

●下り坂は加速がつき危険です。いつでもブレーキがかけられるよう慎重に。
●いきなり公道に出るのは危険です。屋内や庭など安全な場所で練習しましょう。
●車道はできるだけ通らず、歩道や十分な幅のある路側帯を通りましょう。

歩行車は歩行者として取り扱われます。
歩行者としての交通ルールを守りましょう。



●「自転車及び歩行者専用」、「歩行者専用」のマークのある歩行者専用道路も通ることができます。
●信号機のある場所では、「青」が点滅中に横断するのは危険です。次の「青」信号を待ちましょう。

★焦らずゆとりを持った横断、
走行を心掛けましょう。

12.保守、点検

1 ヶ月に一度は安全点検を行ってください!!

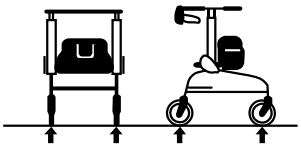
★ブレーキはしっかり効きますか？

タイヤが磨耗すると駐車ブレーキの効きが弱くなります。
タイヤのチェックとともにブレーキの取付ネジの緩み、ブレーキ本体のガタなどがないかご確認ください。もし、異常がございましたら、直ちにご使用をお止め頂き、すぐにお買い上げの販売店までご連絡ください。

★変な音がしませんか?

変な音がする場合、どこでその音が発生しているかをご確認してください。ブレーキワイヤーが車輪に擦れている、ベアリング部の油分が不足しているなどの原因が考えられます。原因が不明な場合、修理不可能な場合はお買い上げの販売店までご連絡ください。

★四点接地していますか？



前輪二輪と後輪二輪が接地しているかご確認ください。
四点接地していない場合、フレームの歪みやネジの緩みが考えられます。直ちにお買い上げの販売店までご連絡ください。

★まっすぐ進みますか？

平地で歩行車を左右均等な力で押してください。自然に曲ってしまう場合、どこかが歪んでいる可能性があります。原因となっている箇所の修理・交換を行ってください。

★ネジの緩みはありませんか？

ガタがある場合は、ネジの緩みや脱落が考えられます。ネジが緩んでいたら必ずしっかりと締めてください。締めてもすぐに緩む、締まらないなどの不具合があれば、直ちにご使用をお止め頂き、すぐにお買い上げの販売店までご連絡ください。

★きちんと折りたためますか？

折りたたみに異常がある場合、ネジの緩みや摺動部分の油切れが考えられます。ネジの締め付け、注油を行ってください。

★車輪やキャスタはしっかり固定されていますか？

車輪を留めているボルト、キャスタを留めているボルトは緩んでいませんか？緩んでいると使用中突然車輪やキャスタが外れて転倒するなど大変危険です。充分ご確認の上、しっかりと締めてください。

★押手はしっかり固定されていますか？

押手にガタがある場合、取り付けネジの緩みが考えられます。取付ネジをしっかりと締めてください。

★ブレーキワイヤーは切れていませんか？

ブレーキワイヤーは切れていませんか？ブレーキが効かなかったり、事故の原因になります。安全のため、1 年に一度はワイヤーを交換してください。

★洗浄の際には、水、お湯または中性洗剤をご使用ください。

- 中性洗剤以外の洗剤を使用しないでください。
- シンナーやベンジン・アルコールなどの揮発性のものは使用しないでください。
- たわし、みがき粉および硬いブラシは使用しないでください。
- オゾン消毒はしないでください。ゴム材料の収縮などの原因になります。

変質・変色・傷み・割れの原因となります。

異常が見つかったらご使用を中止してください。

⚠注 意

●スパナやドライバーなどの工具の使用にて締め付ける場合、薄手の手袋をご使用ください。
●異常が見つかったら、直ちにご使用を中止してください。

13.お手入れの方法

★金属部分（フレーム、車輪等）

フレームなどの金属部は、乾いた布でよく汚れを落としてください。スポークの通常のお手入れは、水を用いずに汚れを落とす程度で十分です。凹凸のある部分の汚れ、頑固にこびり着いた汚れは、市販の中性洗剤を用いてください。

★樹脂（プラスチック）部

樹脂（プラスチック）部品には、市販の中性洗剤をご使用ください。

★シート、バッグ類

汚れた部分をぬるま湯で拭き、きれいな水で仕上げ拭きを行い、乾かしてください。市販されている防水加工用のスプレーなどを用いての防水加工をお勧めします。防水加工を行う場合は、ご使用になる防水加工用商品の説明書をよくお読みください。

＜汚れがひどいとき＞

●汚れがとれにくい場合は、中性洗剤を染み込ませた布で汚れを拭き取り、その後、水で濡らした布で洗剤を拭き取ってください。
●しみは、スポンジまたは柔らかいブラシを用いて取り除いてください。
●洗う場合は、ぬるま湯で手洗いしてください。洗濯機、乾燥機の使用はお避けください。

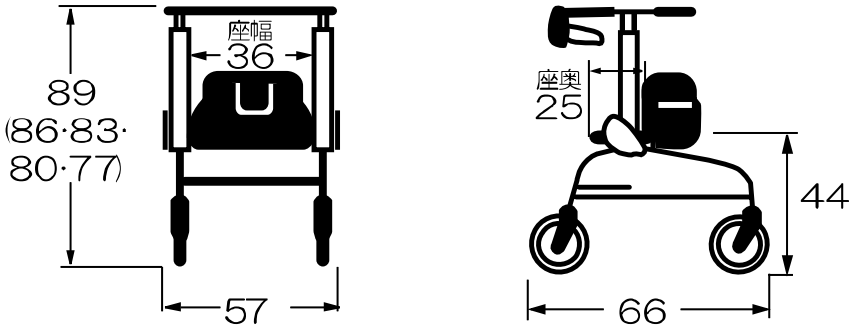
《お手入れの上のご注意》

●中性洗剤を使用してください。（中性洗剤以外の洗剤を使用すると、変質・変色・傷みの原因となります。）
●シンナーやベンジンなどの揮発性のものは使用しないでください。（変質・変色・傷みの原因となります。）
●たわし、みがき粉および硬いブラシは使用しないでください。（傷み原因となります。）

14.仕　様

品名・名称		標準仕様・規格
		ダックウォーカー　AYD
座　　幅		360 ㎜
前座高さ		440 ㎜
背もたれ高さ		250 ㎜
全高		890(860/830/800/770) ㎜
全長		660 ㎜
全幅		570 ㎜
折りたたみ時のサイズ	全高	880 ㎜
	全長	570 ㎜
	全幅	570 ㎜
重量		9.3 Kg
駆動輪（後車輪）		8in　ゴムタイヤ　樹脂ヨーク　抵抗器付
キャスタ（前車輪）		8in　ゴムタイヤ　樹脂ヨーク
フレーム		アルミ製　塗装仕上げ（エントリーブルー）

AYD

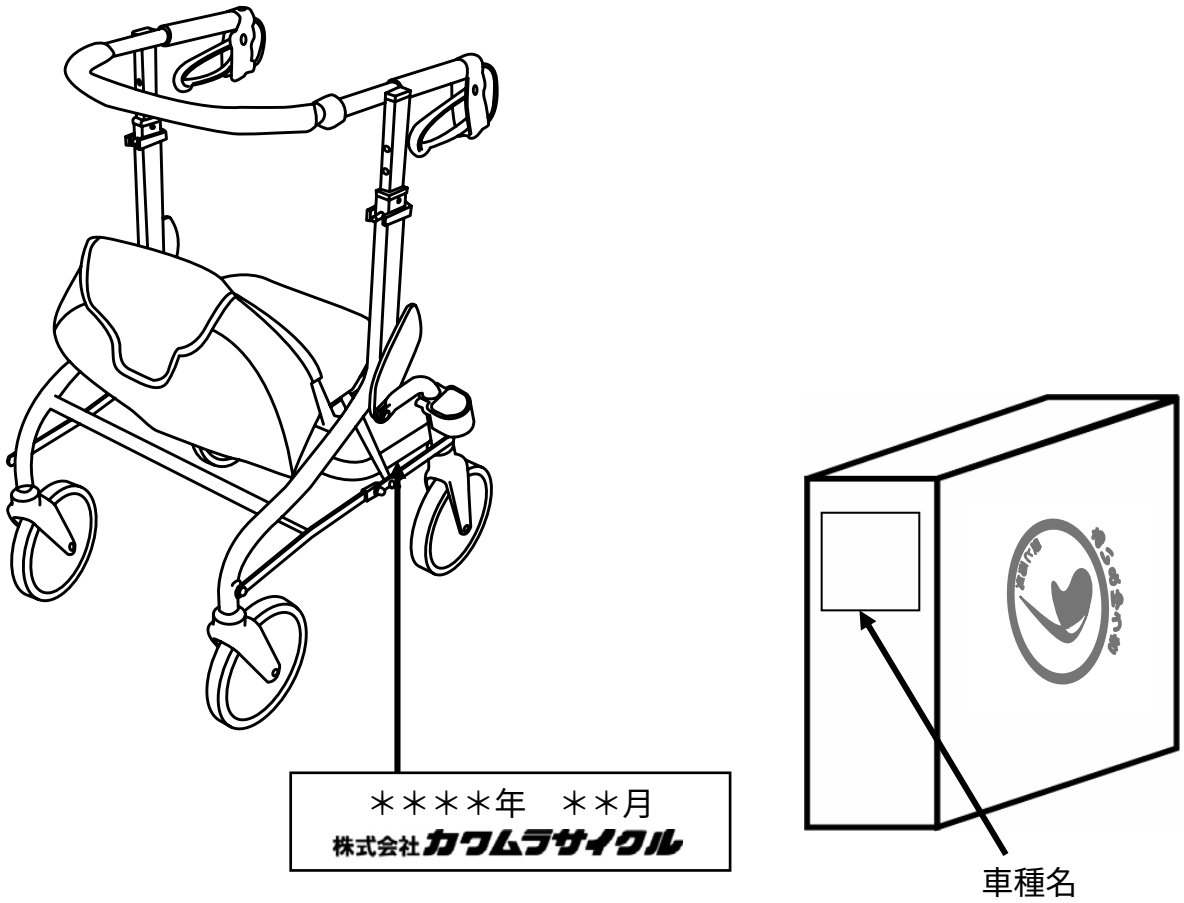


15.製造番号

アフターサービスなどを的確に受けるため、製造年月を記録しておいてください。

車　　種	
製 造 年 月	年　　月

＜シール貼付位置＞



１６.保証

★保証書

この商品には保証書を別途添付しております。保証書は所定の事項を記入のうえ、商品購入後 1 ヶ月以内に当社へご返送ください。
保証期間はお買い上げ日より 1 年間です。

★補修用性能部品の最低保有期間

弊社はこの商品の補修用性能部品を製造打ち切り後、5 年保有しています。
性能部品とは、その製品の機能を維持するために必要な部品です。

★修理のご依頼

異常がある場合は、ご使用を中止しお買い上げの販売店にご依頼ください。

★保証期間後

お買い上げの販売店にご相談ください。修理によって商品の機能が維持できる場合は、ご希望により有料修理させていただきます。

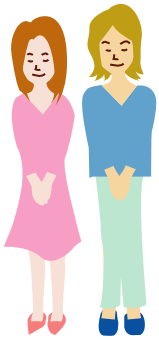
★保証の適用除外となる場合

（ａ）ご使用による消耗品および取扱不注意による破損
　例）タイヤの磨耗およびパンク、シートの破損等
（ｂ）地震、台風、水害などの天災および事故、火災による破損
（ｃ）お取扱の不注意、操作未熟ならびに故意または過失など誤って使用されたことによる破損
（ｄ）保全上の不備および弊社の特約販売店以外で行った修理や改造等による破損
（ｅ）弊社が指定する純正部品以外のパーツ等の使用で発生した破損
（ｆ）一般に歩行器が走行しない場所、または特殊な状態での使用による破損

★本製品を他人に譲る場合

この製品を他の方にお譲りになる時は、必ず本書もあわせてお渡しください。

★一度使用したものは、原則として製品のお取り替えはできません。



地球の環境保護のため、
廃棄するときはそのまま放置しないで
各自治体の取り決めにしたがってください。

株式会社カワムラサイクル

■本社	〒651-2411	兵庫県神戸市西区上新地３−９−１	TEL078-969-2800
■本店サービスセンター	〒651-2411	兵庫県神戸市西区上新地３−９−１	TEL078-969-2820
■さいたまサービスセンター	〒338-0002	さいたま市中央区下落合 7-11-2	TEL048-832-0168
■東京サービスセンター	〒110-0013	東京都台東区入谷１−８−３	TEL03-3874-3511
■横浜サービスセンター	〒220-0073	横浜市西区岡野２−12−９	TEL045-290-9585
■名古屋サービスセンター	〒487-0027	愛知県春日井市松本町１−３−11	TEL0568-52-4800
■大阪サービスセンター	〒564-0044	大阪府吹田市南金田２−20−10	TEL06-6190-8488
■福岡サービスセンター	〒819-0055	福岡市西区生の松原１−18−３	TEL092-882-4722

■神戸工場　■神戸第二工場　■いなみの工場　■メンテナンスセンター

修理・お手入れ・お取扱いなどのご相談は、まずお買い求めの販売店へお申し付けください。

・転居や贈答品などでお困りの場合は、商品名・品番をご確認の上、上記へ。

2006.9